

第19回 第二言語習得研究会(JASLA) 全国大会

予稿集

大会テーマ

S L A研究の再概念化
相互行為としての会話とその能力

2008年12月13日(土)～14日(日)

於 北海道大学

(〒060-0808 札幌市北区北8条西8丁目)

◆目次◆

プログラム	2
予稿集掲載内容一覧	6
大学構内地図・交通案内.....	9
予稿集	10
『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式	112
第20回第二言語習得研究会(JASLA)全国大会研究発表の募集	117
第二言語習得研究会(JASLA)2008年役員・委員	118

プログラム

■ 12月13日(土) (会場：学術交流会館) ■

12:30 受付 (1Fホール)

13:00 ≪開会≫ (2階講堂) 司会 小河原義朗 (北海道大学)

開会宣言 渋谷 勝己 (第二言語習得研究会事務局長)

開催校挨拶 本堂 武夫 (北海道大学留学生センター長)

13:15～16:45 ≪講演・パネルディスカッション≫ (2階講堂)

SLA研究の再概念化：相互行為としての会話とその能力

司会：柳町 智治 (北海道大学)

≪基調講演≫

教室外での会話に見られる第二言語話者の能力とアイデンティティ

—「素人」の評価から学ぶこと—

森 純子 (ウィスコンシン大学マディソン校)

≪パネルディスカッション≫

「参加の組織化」の観点から見た「文法」再検討

“ワードサーチ”を通しての一考察

林 誠 (イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校)

第二言語習得研究のパラダイムシフト：実践への示唆

義永 美央子 (大阪大学)

L2 会話に観察される「相互行為のリソース」

—説得を伴う意見の提示場面から—

池田 佳子 (名古屋大学)

指定討論者：森 純子 (ウィスコンシン大学), 小林 ミナ (早稲田大学)

16:45～17:00 総会・事務局からの連絡

17:00～≪懇親会≫ (会場：1階第1会議室)

■ 12月14日(日) (会場：学术交流会館) ■

9:00 受付 (1Fホール)

《口頭発表A1》(2階講堂) 司会：池田 佳子 (名古屋大学)

9:30~10:00 日本語学習者の読解力と語彙力を促進させる作文指導
ウェイ諸石万里子 (パデュー大学)

10:05~10:35 英語母語話者による日本語心理動詞の習得
—項構造・形態素の差異が及ぼす影響—
岡本 綾 (玄奘大学)

10:40~11:10 日本語母音の長短知覚における母語の音韻体系の影響
—タイ語・ベトナム語話者の比較—
金村 久美 (名古屋大学法学研究科/名古屋
大学日本法教育研究センター(ベトナム))

《口頭発表B1》(1階小講堂) 司会：副田恵理子 (藤女子大学)

9:30~10:00 「が」と「は」の使いわけ
—上級以上の非母語話者と母語話者の実態調査を比較して—
ゲオルギエバ・ベロニカ (早稲田大学大学院生)

10:05~10:35 受身表現のプロトタイプと習得段階
—学習者は目標言語のプロトタイプ的な用法から習得していくのか—
サウエットアイヤラム・テーウィット (名古屋大学大学院生)

10:40~11:10 野外自然環境で外国語学習不安は下がるか
—環境心理学的知見の応用—
西俣 貴幸 (長崎国際大学)

9:30～11:30 ≪ポスター発表A・B≫（1階第4会議室・第6会議室）

司会：堀 恵子（国際交流基金）

(1) 「投射モデル(the Projection Model)」の格助詞「で」への応用

—効果的学習・指導法の提言に向けて—

秋葉 多佳子（東北大学大学院生）・堀江 薫（東北大学）

・白井 恭弘（University of Pittsburgh）

(2) 日本語聴解時における日本語学習者と日本語ネイティブの脳活動の相違

—近赤外分光法（Near-infrared Spectroscopy: NIRS）による測定—

石鍋 浩（国際医療福祉大学国際交流センター）

武田 湖太郎（国際医療福祉大学病院神経内科

・科学技術振興機構 CREST）

谷口 敬道（国際医療福祉大学保健医療学部）

(3) 文系大学院留学生とチューターによる日本語レポート添削場面における相互行為

—行為連鎖と参加に注目して—

今村 明子（北海道大学大学院生）

(4) シャドーイングにおける教示の違いがシャドーイングの遂行成績に及ぼす影響

—中国語を母語とする上級日本語学習者を対象として—

岩下 真澄（広島大学大学院生）

*** 昼 休 み ***

12:40～13:55 ≪講演≫（2階講堂）

司会：松崎 寛（広島大学）

知識の伝達の間から技能訓練のジムへ

—英語（日本語）授業のイメージチェンジ—

静 哲人（関西大学）

13:55～15:55 ≪ポスター発表A・B≫（1階第4会議室・第6会議室）

司会：小河原義朗（北海道大学）

(1) L2 語彙学習において、ニーズの有無は産出に影響を及ぼすか

—効果的学習法を探る—

岡嶋 裕子（東京大学）

(2) 記憶容量の大小が2文シャドーイング時の文の正誤判断に及ぼす影響

倉田 久美子 (広島大学大学院生)

(3) 中国語を母語とする上級日本語学習者の日本語漢字単語の処理過程

一文随伴呈示条件と単語単独呈示条件の比較を通して—

蔡 鳳香 (広島大学大学院生)・松見 法男 (広島大学)

(4) 第二言語としての日本語の習得における教室内活動

一例文の違いによる効果についての—考察—

鈴木 恵理子 (東北大学大学院生)

《口頭発表A1》(2階講堂)

司会:堀 恵子 (国際交流基金)

14:40~15:10 上級学習者の聞き手としての談話行動

—インタビューにおける聞き手としての働きかけ—

日野 純子 (立教大学)

15:15~15:45 自然環境学習者の形容詞否定形の習得過程

—「じゃない」「くない」に注目して—

福田 規子 (広島大学大学院生)

《口頭発表B1》(1階小講堂)

司会:小林 ミナ (早稲田大学)

14:40~15:10 習得しやすい日本語複合動詞とは何か?

—香港人中上級日本語学習者の習得及び使用実態予備調査を通して—

何 志明 (香港中文大学)

15:15~15:45 日本語学習ストラテジー、成績上位者と下位者では何が違うのか。

—初級の漢字、語彙、文法学習の場合—

森 幸穂 (青山学院大学)

15:55~16:00 《閉 会》(2階講堂)

司会 松崎 寛 (広島大学)

第20回全国大会のお知らせ 坂本 正 (南山大学)